

『真歇和尚拈古抄』(上)

大智の新出資料として

はじめに

大智禪師(一二九〇—一三六六)は、その偈頌によって広く洞門に知られているにもかかわらず、その著作については、不明な点も少なくない。『大智禪師逸偈行録』や『大智偈頌聞解』(『聞解』と略)等を著した面山瑞方は、肥後玉名の広福寺にあって、大智自身が遺言によって自らの語録を焼かせた、という言い伝えを、住持より聞いており、これを『聞解』の跋文に示しているが、やはり江戸期においても、大智の語録類を見い出すことは困難であったようである。ただ面山は、同じ跋文において、「真歇拈古ノ抄」と「宏智和尚小参録抄」なる二書について言及しており、「アラキ言句ナリ、コレハ定テ講ゼラレシヲ、門人ガ聞書ト察セラル」と述べている。このうち後者、所謂『天童小参抄』については、各寺院や図書館にその写本が伝えられ、『続曹洞宗全書』にも

安 藤 嘉 則

「注解、二」の中に収録、刊行(第十八の小参まで)されており、その内容を知ることができる。しかしながら前者の「真歇拈古ノ抄」なる書については、上記の面山の跋文によって、その書名を知るばかりであり、管見による限り、これまで刊本(江戸期に同名の刊行本があるが、別書である)は勿論の事、写本の存在すらも報告されたことはない。

しかるに本年(平成四年)五月、神奈川県小田原市扇町、天桂山玉宝寺において、安藤実英住職の御高配によって、玉宝寺の諸写本を拝見させていただく機会があり、その中からこの面山の言及していた「真歇拈古抄」と目される書を見い出すことができたのである。貴重な資料をお見せいただいた御住職には、深く感謝申し上げる次第である。

この玉宝寺写本は、外題(内題はナシ)は「拳信心銘」となっているが、その内容は三祖僧璨の『信心銘』を拈提した真歇清了の『真歇拈古』をさらに拈提・注解したものである。本書の撰述者については、外

題には示されていないが、本書の中に「祇陀先師之御注」「水月開山之御注也」「祇陀開山御注」とあることから、大智の注解であることが知られ、また注解した年代も「正平十七年（一三六二）壬寅」と明記され、これは大智の晩年に当たっている。さらに本書では、大智自身の行実に言及する箇所もあり、そこに見られる偈頌が、『大智偈頌』の中の一偈として確認される。この他『天童小参抄』の講述と比較しても、類似する点も多く、この注解書は、恐らくは大智自身の講述に基づいて成立し、伝えられたものであると考えられる。

ただしこの『拈古抄』は、江戸期の面山による『真歌和尚拈古聞解』のように『拈古』の本文を全体的に注解したものではない。そもそも『拈古』は『信心銘』本文を二句（一句は四文字）ずつ取り上げて、拈提したものであるが、この『拈古抄』では、各拈提部分の最後の部分にみられる著語を中心に、注釈・拈提する場合が多く、実際には『拈古』の部分的な注解となっている。

ところでこの玉宝寺蔵『真歌和尚拈古抄』の写本を見る限り、本書が引用する『拈古』の本文は、現在よく依用される『統藏經』所収のテキスト（面山校訂重刻本）とは、細かい点でしばしば異同がみられ、江戸期本以前の『拈古』のテキストを確認する必要がある。

またこの写本自体にも、いくつかの問題点がある。まず書写年代については、裏表紙に「延享三年（一七四六）六月」とあり、恐らくはこの頃の書写本であろう。また本文最終丁に「鳳仙寺会下弁宗的」とあり、書写人の名であると思われる。

さらにこの写本を『拈古』と対照して検討してみると、ある『信心銘』本文に対する『拈古』の一文が、別の『信心銘』の別の偈の処において、引かれ、注解されており、テキストとしての乱れがいくつか存在する。例えば「此分ハ別紙ニアリ」という『拈古抄』の一文は、全く別の『信心銘』の本文の注解の箇所であり、本書の原本自体が乱丁であったことを予想させる。

以下に本写本をその内容・面山の記述に基づいて『真歌拈古抄』と題して翻刻し、これを紹介する次第である。原写本をそのまま翻刻するつもりであったが、便宜上、以下の方針に基づいた。

(一)、本文に対して句読点を加え、また『信心銘』の本文はゴシック体とし、『真歌拈古』の本文に相当する箇所は傍線を引いた。

(二)、写本で使用される異体字、略字も止むおえず現行の活字体に変更せざるを得なかった。

(三)、改行も原写本では任意であるが、本稿では、原則として『信心銘』本文のところで改行した。

(四)、写本では、○や△の記号が用いられ、△は、主に『信心銘』本文、○は『真歌拈古』本文を示しているものの、必ずしも確定しているわけではなく、そのままの形で表記した。

(五)、原写本では「ズンバ」「セズ」等の送り仮名を用いる場合、濁点を欠いていることも多いが、写本に従い、濁点が付されている場合に限り表記した。

(六)、明らかな脱字は「」に入れて、表記した。

正平十七年壬寅七月三日注之

前日度々千差ノ岐路ヲ截断スルモ、平地ニ喫咬ト云一句ヲ注スト雖モ、語多シテ理簡ナラス。畢竟ノ截断千差岐路トスト者、葉山初參石頭ニ便問、三乘十二分教ハ学人粗知有、如何是教外別伝宗旨。頭云、任麼也不得、不恁麼也不得、恁麼不恁麼惣不得。此答、今真歇垂示ノ要旨ナリ。千差ノ岐路ヲ截断スト云一句、石頭和尚ノ答ニテ見ツベシ。截断千差——族云、注云、這三種ノ異見ヲ摧折スル意旨ハ、若シ去情識意想陰界之中意ヲ作テ千差岐路ヲ截断シ、咽喉々々ヲ併却シ、況マタ説心説性——族ヲ如是三種ノ異見ヲ摧破シ了テ、陰界意想、虚忘分別（一、ウ）ノ心ノ外ニ従上来仏祖不傳活処ノ妙心アルヲ直示スル也。故ニ従上来事合作麼生ト挙スルハ是也。

挙信心銘

注云、信^{スト}心者、佛祖不傳ノ妙心アルヲ信得及スル也。信得及ノ一句ニノ眼アリ。一ハ只參学ノ士ニハ、先佛祖ノ妙心ヲ信得及、異見情識ノ裏ニ去テ參スルヲ莫レト示ス。一ハ佛祖不傳ノ妙心ヲ徹骨參得スルヲ信得及スト云。今ノ信ハ此眼也。及トハ者、究尽スルヲ云。故ニ徳山ノ円明大師ノ道及尽去也。三世諸仏口掛壁上云。是ハ初心ノ道人ノ信ニ非。具眼者ハ辨取セヨ。真歇和尚拈云、這野狐——信个任麼^{ラカ}。注云、這野狐精トハ、三祖ヲ抑下スル一句也。三祖ヲ抑スル宗旨ニノ眼アリ。一ハ（二、オ）佛祖向上ノ心ヲ挙ス、所謂官有定候。一ハ佛祖不伝ノ妙心ハ、一切思惟ト度意想情識知見解会、千里万里ノ粘肉ノ汗衫子ヲ脱折シ下シテ淨裸々赤洒々擬議撮摸ノ処ナシ。是ヲ佛祖不伝ノ妙心

ト云。三世諸佛ノ手ヲ授ルハ、此心ヲ授ル也。歷代ノ祖師ノ傳ルハ、此心ヲ傳ル也。カリニ暫ク心ト挙スルハ、表顯ノ言也。若^ハ擲^ハ向上^ニ、三祖大師ヲ汚却シヲハルノミ（三）非、天下ノ人ヲ錯誤シ、異端影迹ノ岐ニ走作セシム。爭カ佛祖授受ノ旨ヲ辜負セザラン哉。真歇先師千歳ノ下ニ出来テ、觀面ニ劒ヲ揮テ、影迹異端ヲ把テ斬、為三段糞土ノ坑子ニ抛向シテ便道、三祖大師不識^{ナリ}好惡^{ナリ}道个心——八萬劫云云不是心、不是佛、不是物ト云ハ、皆劒（ニ、ウ）ヲ揮テ勦絶スル語也。若^ハ不揮劒、天下ノ人ヲ賺誤シ佛祖不傳ノ妙心ヲ失却セン、思^ハ之云云、不是心不是——佛不——物信^ニ這個什麼^{ラカ}。住云、佛祖不傳ノ妙心ハ言語思量擬議ノ及処ニ非ス。一物ニ説似スルニ、即不^レ中。虚空ノ針ヲカケザルカ如ニ相似リ。信个什麼一毛モ纔ニ胸ニアツレバ、揮劒。故ニ信个什麼云、淨裸々赤——銘个什麼^{ラカ}。注云、同^レ前。信ト心ト銘トノ三ヲ劒ヲ揮テ一刀ニ斬断シ、方始テ三祖大師ノ道ヲ扶豎スル也。畢竟ノ学人一物モ是ヲ把テ、胸ニアツレバ、即剎^ハ却ス。別ニ無^ニ道理^ニ。

○問、上根利智ノ人、即心ニ活句ノ妙ニ參得シ、便揀抉明白ヲ透ルヤ否。對云、否ナリ。タトヒ活句ニ參得シ大（三、オ）悟一上スト雖トモ、照明用機智勝解和^レ語併消シ佛法ノ玄奇妙特胸中ノ滲漏瀝軌シ尽キテ後ニ甦来ル人芒角尽キ稜縫ナウシテ、葉山・趙州・翠微・投子ト同證同持スベシ。參学容易ナルベカラズ。趙州示衆云、山僧一^ハ到^ハ葉山^ニ、至^ハ今^ハ飽^ハ餉^ハ々地ト云ハ是也。趙州既^ニ見^ニ南泉^ニ大悟^ス。因^ニ甚^ニ麼^ニ重^ニテ見^ニ葉山^ニ飽^ハ參^ハスルヲ得タル。具眼者^ハ別セヨ。○雖^ニ然^モ如^レナリト是^ハ——量^ハ処^ニ。

注云、官有定條民^ニ許^ニ私約^ヲ即今真歇祖師、老婆心切ニ慈悲之餘、落

草為^レ人商量スト者、三祖大師ノ道出スル仏祖不傳ノ妙心、亦ハ正法眼藏、涅槃妙心ト称ス。這ノ妙心ヲ本地ノ風光、本来ノ面目トモ拳スルナリ。這本地風光（三、ウ）本来面目、涅槃妙心ハ容易ニ到ルベカラス。縦ヒ上根利智ノ人、言下ニ大悟ノ活句ノ妙処ニ契合スルヲ得テ、掣電ノ機ヲ発シ、眼空^{トモ}四天下^ヲ、正法眼藏、涅槃妙心ハ夢ニモ見ルヲ許サス。什麼ノ共語ル処カアラン。故ニ世尊最後ニ靈山會上百萬ノ大衆ノ前ニ於テ、一枝ノ婆羅花ヲ拈ス。時ニ大衆茫然トシ莫測^ヲ、獨有^ニ迦葉頭陀而已^一、破顏微笑ス。世尊拈花^ヲ警地ナルヲ知テ印テ云、吾有^ニ正法眼藏、涅槃妙心^一、付^ニ屬摩訶迦葉^一。傳化未來莫令斷絶。亦不^レ見雪豆禪師、馬祖ノ日面佛月面佛ノ話ヲ頌ノ曰、日面佛月面佛、吾帝三皇是何物、二十年來曾苦辛為君幾下^ニ蒼龍峒^一。屈堪^レ述、吾帝三皇是何物。予引雪豆頌古^一、（四、オ）眞歇ノ示ス処ニ會同スル処ハ、所謂眞歇禪師從上來佛々祖々親證親契ノ不傳ノ妙心ハ從ヒ悟入^ニアル底上根大機ノ漢ナリト雖トモ、ミタリニ許可スベカラザル故ニ、慈悲草ニ落テ云、試問、諸人現今四大六根、内外虚幻ニ徹底空寂ナリト云。這一句ハ、佛々祖々親證親契ノ処ヲスコシキ拳スル也。其謂ハ、上根大機悟^ニアツテ活^ニ処ノ妙悟ヲ得ト雖トモ、只半途ニ倒ル^ヲハ即^ニ你ニ許ス。十成ニ佛々祖々ノ妙心ヲ傳ル^ヲハ萬里崖洲遠之又遠シ。学人ノ悟^ニ処ハ、洞山和尚、功勲五位ノ中ノ第三功ニ到ル故ニ、半途ニ到ルト云。其後第四ノ共功ニ到テ内紹王子誕生スル^ヲハ是ヲ許ス。未タ位佛祖ト同參スル^ヲハユルサズ。雪豆（四、ウ）久ク在テニ太陽ノ會下ニ參拈スル^ヲ多年、深得^ニ此意^一、即頌^ニ馬大師日面佛月面佛ノ話^一曰、日面佛月面——窟ト頌ス。今眞歇

拈^ニ三祖大師信心銘^一云、拳^レ一、不^レ得^レ拳^ニ二、放過一著、有^ニ个商量ノ処^一、眞歇商量^ニ个什麼^一。誠ニ問^ニ諸人^一、現今——寂、其下ノ句云、面前明々了々、弥^ニ滿天地^一、復是何物。拈スル意ハ、上ニ云カ如ク、縦上根大機ノ人モ悟^ニ処ノ妙句現前ノ掣電ノ機ヲ發シ、機鋒顯脱^ニ臨濟・德山ヲ平睨スト雖モ、仏祖親契ノ妙心アル^ヲヲ不^レ知、什麼ノ共商量ノ処カアラン。參佛燃灯ノ後ニ到テ方ニ始テ世尊拈華、迦葉破顏ノ宗旨ヲスコシキ觀得見透スベシ。是ヲ以テ三祖大師ノ道著スル信心銘、其高キヲ王ノ如ク、深^ニ滄^一（五、オ）溟ヨリモスキタリ。眞実骨ヲ換ヘ髓ニ徹ル妙悟ヲ得ス^ニハ、縦悟入ノ所アリト雖トモ、争カ内外虚幻ニ徹底空寂ナリト云一句ノ落著ノ処ヲ觀透セン。參^ニ燃灯ノ後ニ到テ、然後眉毛ヲ眨上スレバ、空却已前自己、本地風光、本来ノ面目、昼夜放光動地ノ常^ニ在^一面前^一出入。恁麼信得去^ニラバト云、是眞実佛祖不傳、正法眼藏妙心ヲ信得スル也。故ニ眞歇禪師後字ヲ三祖ノ信心銘ノ信ヲ恁麼ニ信得セシメン^ヲヲ貴ンテ此ノ注アル也。具眼者辨取セヨ。取^ニ要言^一之^一。内外虚幻徹底空寂ノ一句ヲ道出シ來ル要^ニ處落著ノ所ハ骨ニ徹リ髓ニ敲、実參ノ後、無師智自然智自己不傳ノ妙心、光燦々地蓋遮ノ処ナシ。明々了々天地（五、ウ）彌滿スト也。縦悟入ノ処アル底上根大機ノ人モ、燃灯已前ハ洞山門下你ヲ印證スル^ヲヲ不^レ許。更ニ參^ニ正燃灯ノ位ニ參到ストモ、只是半途ニ到ル^ヲヲハ許ス。全它ヲ放過ス、況^ニ燃灯已前ヲ哉。所詮眞歇禪師放過^ニ一著^一、向^ニ第二義門^一商量ノ処アリト慈非草落テ人ノ為ニスル一句ノ落著ノ処ハ、淺根浮薄ノヤカラ目前ノ鑑覺ヲ認テ、見聞覺知、言語相問、著衣喫飯、日用應緣ノ処、頭々顯露スル物ヲ自己トシ、陰界

意想ノ裏ニ領解スルヲ悟入ノ処トシ、三世諸仏ノ自心性ヲ悟ト云ハ、此心ヲ悟ル也。歷代ノ祖師ノ以心傳心ト云ハ、此心ヲ傳ル也、ト云テ李四長^{（六）}ヲ集テ、兩月ノ中ニ得法得道セシメ、彼等ヲ印^{（六）}見^{（六）}ン。與^{（六）}佛^{（六）}（六、オ）祖^{（六）}ヒトシト作ス。因^{（六）}此^{（六）}邪見ノ高^{（六）}滿^{（六）}ヲ起^{（六）}タクヒ在家出家天下ニミツル^{（六）}如^{（六）}稻^{（六）}麻^{（六）}竹^{（六）}葦^{（六）}。アケテカソフベカラズ。眞歇祖師彼等ヲ悲傷^{（六）}ノ人ヲシテ実參実悟セシメ、三祖ノ道出スル佛祖不傳ノ妙心ヲ心得悟入セシメン為ニ、試問、諸人現今四大——寂ナリ。明々——何物ノ恁麼ニ信得^{（六）}シ去ラバ、自己本地風光——ト云。此外別無^{（六）}道理^{（六）}。信^{（六）}之^{（六）}云云。

○信心銘 注云、佛祖不傳不思議ノ妙心ヲ信得及、悟得徹スルヲ信スト云、尋常忘想ノ中ノ信ニ非。

○祇陀先師之御注、此行之注ハ是及也。又重テ御注アル分、末ノ紙ニ誌ス。末ノ分ハ所々御ケシヲレタレトモ、皆悉書写スルナリ。御筆ノ本ニテ写^{（六）}之^{（六）}ナリ。

（六、ウ）不是心——不——物信个什麼、注云、無^{（六）}你^{（六）}撮摸ノ処、○三祖大師、心ノ一字ヲ道。早已七花八裂、何況群ヲ作、堆ヲ成テ、江南江西祖師ノ子孫ト称^{（六）}メ、虚ヲ承テ響ヲ接シ、心ヲ説テ道ヲ論ノ浩浩地ナラシ^{（六）}ヲキ。今眞歇來テ説破セント要スルモ、普州人送^{（六）}賊^{（六）}トナル故^{（六）}ニ白^{（六）}、没交涉ト云。○舉一不得舉二——、注云、官^{（六）}定條アリト雖モ事^{（六）}一向ナシ。你ガ為ニ子細ニ商量セン。現今四大——寂ナリ、注云、面前無^{（六）}關^{（六）}梨^{（六）}此間^{（六）}無^{（六）}老僧^{（六）}。又云、喚^{（六）}什麼^{（六）}、作^{（六）}四大六根^{（六）}。又云、然トモ形ナク相ナク、朕ナク、迹ナシト雖モ、面前明——物。你纔^{（六）}ニ心ニ思惟ニ入テ辨明セント擬スレバ、早是虚空ニ相見ヲナス也。故ニ若也思量擬議——

角頭（——）分ト云。（七、オ）

△至道無難——擇、注云、趙州先師八角ノ鉄藏^{（六）}梨^{（六）}ヲ磨シ尽テ、稜逢ナク芒角ヲ絶ル故、捧喝ノ門庭、機鋒ノ相見ヲ作サス。牛^{（六）}信^{（六）}テ拈^{（六）}シ、口ニ信テ道。天下ノ人、這老ライカントモスル^{（六）}ナシ。蓋^{（六）}它在南方三十年、二時ノ粥飯ヲ喫スル外、雜用心ナク、骨ニ徹リ、髓ニ徹テ明白ヲ透リ、揀^{（六）}扱^{（六）}ヲ透ラズンバ、イックンソ用得テ、通身自在三昧ノ妙ヲ得ン。一日侍者報云、大王來也。州云、大王万福、者云、大王不來、州云、你道來也、凡趙州ノ禪大旨如^{（六）}此。

○至道無難言端語端——明白、注云、趙州得道ノ後、五年分疎不下ノ処言語ヲ以通スベカラズ。你纔^{（六）}ニ口ヲ開ハ、是揀扱是明白、況ヤ機鋒ノ商量ヲ作テ要^{（六）}見^{（六）}趙州（七、ウ）老漢^{（六）}、驢年ニモ也未夢見在。你親這話ニ參セント要セバ、殺活與奪、機鋒顯達ノ眼ヲ瞎^{（六）}尽シテ、與趙州把手双行ベシ。纔有語言是揀扱是明白ト云落^{（六）}処ヲ知^{（六）}。○達觀禪師云ガ如ク、佛祖ノ意ニ參得^{（六）}ノ活句不傳ノ妙アル^{（六）}ヲ知^{（六）}ルベシ。若一大藏教、祖師ノ公案葛藤ノ上ニ去テ領解スルハ死句也。活句ニ非ト云ニ、○雲門大師、此事若在言句中、一大藏教豈無^{（六）}言説^{（六）}、何必祖師西來、傳正法眼藏云云。今趙州ノ道ク、纔有語言是揀扱是明白ト云ハ、巴鼻スコシキ異ナリ。今趙州云句ハ、親契ノ処、語默ヲ以テ通スベカラス。你^{（六）}纔^{（六）}開^{（六）}口是揀扱是明白。具眼者弁別セヨ。故ニ雪豆云、難々揀扱明白、君自看（八、オ）即云、曾經^{（六）}巴峽猿啼^{（六）}処^{（六）}鍊^{（六）}作^{（六）}心肝也斷腸。○言端語端、注云、此句ニ二ノ眼アリ。一ハ奪語、一ハ與ル語也。○寂庵恁麼告報^{（六）}也^{（六）}有^{（六）}三十棒^{（六）}。注云、只這至道無難但嫌揀扱、纔有語言是揀扱是明白ト云一句、趙州五年

分疎不下ナルノミニアラズ。今天下明眼ノ宗師ト称スル者、甲ヲヌキ、戈ヲ倒テ始テ沙弥・童行ト作テ参スル二十二年ノ始テ得ベシ。況意根未断、見解不忘、口ヲ開ク処ニ向テト度セバ、它日閻羅老子ニ草鞋錢ヲ責ラレテ、宅ニ還スヲアラン。眞歇老婆親切ニシテ諸人ニ告報スルモ、亦在三十棒、過口ヲ開テ你ガ為ニ吉報スル処ニアリ。故ニ趙州至道不揀扱ノ公案、父母所生口終ニ不_レ為_レ你说ト云。眞歇ノ意ハ始終纔有語言(ハ、ウ)——白ト云一句ヲ挙メ、恁麼ニ云、大綱、趙州・眞歇ノ意別ノ眼ナシ。明白ヲ透リ揀扱ヲ透ル一句、只唯證ノ人、自點頭スヘシ。纔ニ語言ヲ以通セバ、是揀扱是明白ナリ了。故ニ云、難々揀扱明白君自着ト云。○庵外ニ牛ナシト雖モ、庵内ニ人アラバ、明白ヲ透リ不_レ得、争カ趙州不揀扱ノ句ヲ参究セン。故ニ揀扱明白君自着ト云。你タトヒ悟道明心ノ眼明ナルヲ鏡ノ如、千里ニ察ニ秋毫、物来レバ斯照シ、鑒在ニ機前、顯達ストモ、実ニ未_レ透明白ハ、争カ不揀扱ヲ夢ニモ見シ。難々。○明眼ノ人、鑒在ニ機前、機鋒顯達ノ見シ。與_ニ佛祖ヒトシク機達ノ眼アラバ、趙州ノ公案ヲ透リ得シ。更買_ニ草鞋、三(九、オ)十年参ノ始テ得ベシ。争カ你カ鈍心中ニ明白ヲ透リ、揀扱ヲ透ル処ヲ摸索シ得シ。故ニ雪豆道、難々揀扱明白君自着ト云。眞実明眼ノ人参シ、庵外ニ牛ナキヲ得ルモ、庵内ニ人アラバ、猶未_ニ自點頭_一アリ。它自非ヲ知ル故ナリ。曹洞ノ宗師容易ニ人ヲ印セサルハ只是也。浮山遠禪師ノ如キンバ、已ニ省_ニ驢_一漢ニ見テ、徹底テ大悟シ、印證ヲ受ト雖モ、更ニ数十季ヲ経テ始テ大陽ニユルサル。是等ノ大事、明眼久参ノ人ハ自然ニ不_レ疑耳。○庵外ニ牛ナクトモ庵内ニ人アラバ、猶未明白ヲ透リ得ス、争カ不揀扱通

身自在ノ妙、築着礧着シ去ルヲ得シ。○碧岩集ニ円悟和尚、趙州ノ公案ヲ垂示シ云、乾坤宰日月(九、ウ)星辰一時黒——向上宗乘。今円悟ノ向上ノ宗乘ニ當得スト云ハ、尋常宗門ニ用ル向上非ス。只趙州ノ禅ニ當得スト云也。辨_レ之。乘示ニテ趙州老漢、天下ノ人、它ヲイカントモセサル処ヲ見ルベシ。這老轉變ノ処、実ニ揀扱ヲ透リ明白ヲ透脱スル中ヨリ出来故ニ、乾坤宰日月星辰一時黒ト挙ス。

△但眞憎愛……白、眞歇挙云、是誰恁麼道ト抄スルハ、字面ハ先三祖ヲ一抄スル。三祖ヲ一抄スルハ、天下ノ納僧実ニ未這一句ヲ透リ得サル者ヲ抄スル也。宗門ニ指桑テ罵柳ト者是也。○至道無——白、故ニ三祖纔ニ口ヲ開テ一句ヲ道フ処ヲ痛、一抄ヲ與テ、是誰恁麼ニ道ト抄ス。眞歇如_レ是官路ヲ當行メ、三祖(十、オ)大師ヲシテ出頭ノ処ナカラム。然_レ後民_ニ許_ニ私約_一云、無_ニ人識_一得渠。○眼在ニ良久処ニ見ツベシ。渠ハ揀扱明白ニ随セサル人ヲ云。所謂那个ノ人也。又ハ尊貴ノ人ト云。雖_ニ然_一如_レ是不_レ求_ニ諸聖_一、不_レ重_ニ己靈_一、憎_ニ个什麼_一、愛_ニ个什麼_一。注云、此句ハ眞歇和尚、先向上ノ一著ヲ全提メ、三祖大師及三世諸仏、歷代祖師ヲシテ出頭セサラム。然後可寧ニ草落ノ談ヲ作テ、凡情憎愛、得失是非ヲ一刀ニ截断シ云、不_レ求_ニ諸聖_一、不_レ重_ニ己靈_一云、此外別ニ無_ニ道理_一、眞実徹_ニ證_一、無_ニ心道人_一、視_ニ自己_一猶如_ニ冤家_一、何ノ聖ノ慕フベキアラシ。諸聖猶不_レ慕、自己ヲ視ルヲ如_ニ冤家_一、个ナニヲカ愛シ、箇ノナニヲカニクマン。○三祖大師ノ洞然明白ナリト云一句ハ、病語ニ非。但シ一般参不透(十、ウ)ノ漢タトヒ見性明心スト雖モ、那邊ニ徹證セサレバ洞然明白清浄法身邊ニ墮在ノ病ヲナス。故ニ人ノ恁麼ナラヌヲ恐テ、是揀

扱是明白ト云也。三祖ノ道処ハ、実ニ一色邊ノ明白ニ非ス。只是直面提持ノ句也。故ニ眞歇末後ニ豎拂子——人ヲ慚惶殺人ト道著スルハ、天下半年落後揀扱明白ヲ透リ、不レ得底ヲ慚惶剝ス。洞然明白ニ坐在スレバ、猶病ヲナス。何況些子ノ禪道、便得セラレテ、到处ニ靜ニ勝負、此人我無明耳、天ヲ哉。恁麼ノ見解ヲ以テ天下ノ大宗師ト称セラル、自ノ病痛未レ却、如何救得別人。要ハ會ニ洞然明白ヲ麼。豎起拂子云、慚惶殺人○臨濟・曹洞ノ兩儻ヲ別テ自讚、它ヲ謗スル人ヲ云。無外ノ遠和尚ノ跋ニ分別見ヘタリ。(十一、オ)

△毫釐有——隔、大小大法眼、修山主猶似依本——釐、注云、祖師ノ道ク、毫釐有差——、這一句子吹毛ノ劔ノ如シ。不レ妨道著シテ親切ナルヲ、只是天下ノ人不レ知落處。ヲヨソ大法眼與修山主、這一句ヲ互ニ挨拶ス。修山主猶法眼禪師ニ依本盡胡芦ト道ハル、何況今時天下叢林纔ニ拳ニ一編、三祖ノ道処ニ當ツルヲ哉。只悟ル人、這ノ句ノ落處ヲ知ルベシ。法眼・修山主ノ問答本録ニ載タリ。見之。

○欲得現前——逆、注云、道人自己徹證ノ処ヲ不レ擇、身ヲ横テ自在ニ行ク、皆主宰ト作り得リ。故ニ順逆ヲ存セヌト云。○拈云、道什麼、注云、現前ノ処、佛祖モ也。口ヲ開テ諱スルヲ得。又且道、如何是現前ノ一路。良久云、一時ニ露現ノ(十一、ウ)遮蓋ノ処ナシ。心ニ擬スレバ即差フ。口ヲ開ケバ即墮ス。故ニ眞歇禪師モ祖ニ二拶ヲ與テ云、道什麼ト。

○現前是——來レ、注云、這句ハ現前ノ一著子靚露當々トノ遍界遮蓋ノ処ナキヲ拳ス。然モ山ヲ堆、嶽ニ積テ觀体现成スト雖トモ、道人面前三絲

毫許モ縁ヲ作シ、對ヲ作ス物ナシ。○瀉山二十年不レ參禪、不レ學道、只養得一頭ノ水牯牛、常在面前、露髹々地ナリ。注云、此内縁ヲ引ク為山二十年一頭ノ水牯牛兒ヲ爛骨堆地ニ養得テ、露髹々地ニ現前スルヲ云。露髹々地ニ現スト者、遍界不藏一頭ノ牛也。是ヲ法身ト云、又ハ露地ノ白牛ト云。渠ヲシテ諸聖ノ報位ニ住セズ。異類中行スルニ、順モ也不レ見、逆モ也不レ見。(十二、オ)佛界魔界、順行逆行、皆主宰ト成得テ、順逆ノ二邊ヲ超越スルカ故ニ、順也不レ見、逆也不レ見ト云。○自家ノ牯牛ヲ養得テ十成ニ平穩ナレバ、在那邊不レ注位、在這邊不レ涉縁、這邊那邊自己目前打テ一片ト成シテ、見処不レ偏枯。隨処自在ナルヲ十成ニ自己ヲ明メ、目前ヲ明ト云。所謂自己ト者那邊、目前ト者這邊ノ事ヲ云。已ニ自己ヲ明メ、目前ヲ明メ了レバ旧ニ仍ル。故ニ云、大地雪漫々、冬來依旧寒。○明自己ト者、冷暖痛痒ヲ辨スル物ヲ明ムルニハ非ズ。那邊更那邊、塵劫已前ノ物ヲ明ムル云。明トハ領スルニハ非ス。親契親證スルヲ明ト云。○明目前者、已ニ了却那邊却來這邊行履スル時、声色ノ裏ニ游(十二、ウ)戲シ、声色ノ中ニ安眠ノ隨処自在ナルヲ云。○明目前ト云ハ、尋常杜撰ノ見解ヲナシテ、見山是山、見水是水ト云ニ非。凡言句ハ同モ句ナリト雖モ、所ニ依テ用ヒカフルアリ。詳是。古人云、奏樓歌ニ夜月、魏閣醉ニ春風、是ヲ目前ノ事ト云、審細ニ參スベシ。○又一ノ眼アリ。自己ヲ明ト者、空却ノ自己ニ徹證スルヲ云。然後、見山是山、見水是水、主丈子ハ是主丈子ヲ目前ヲ明ト云。末世ノ衆生ノ根機淺薄ニシ、審細參學ノ道人、天下ニ一人モ無ラン時、若子ガ法ノ子孫ノ中ニ、宿ニ般若ノ縁ヲ植テ願力ニ乗ン來ラン人アラン時、天下ニ宗乘

ノ大事、誦訛ヲ分明ニ指示スル宗旨ナカラン時、此注釈ヲ大法ノ指南ト
シ、佛祖（十三、オ）親證ノ処ヲ分明ニ指示シ、後代ノ人ヲ錯誤セサラン
為ニ、委細ニ草ニ落テ一々ニ注破ス。具眼者ハ察之。悲涙ヲ流シ注之。
自己トハ廊庵和尚十牛ノ図上、第八ノ虚位是也。目前ト者、第九ノ図ヲ
看、自己ニ徹證セズシテ縱横無碍ニ柳縁花紅ト説クハ、天魔ノ説ト知ル
ベシ。家國傾亡ノ後、鄉閭信通、然後、山青水綠、坐觀成敗、是ヲ大平
ト云。古人頌云、泰樓歌夜月、魏閣醉春風、家國傾亡後、鄉閭信不通、
誠哉。

○違順相爭——病、恁麼多、不恁麼少。注云、而今天下名ヲヌスンテ善
知識ト称スル者ヲ檢點スルニ、没量ノ大人モ違順憎愛ノ中ニ頭出頭没ス
ル底、如麻似粟。故ニ恁麼者多ト云。實ニ仏祖親證ノ妙悟ヲ得ル者、
天下ニ全無ト（十三、ウ）ハ道ハス、只是少。故ニ不恁麼者ハ少ト云○
這憎愛違順スル者ハ誰ソト檢點スルニ、只自憎愛自順スルノミナリ。畢
竟ノ憎愛ナキ中ニ自心ニ憎愛シ、違順ナキ中ニ自違順スル故ニ、憎愛是
心、違順是我ナルヲ不知ト云。○禪和子明々向你——測。注云、眞實
仏祖親證親契、大休大歇ノ田地ニ参到スル人、心ハ寒灰枯木ノ如ク、口
醉人ニ似テ、或時ハ非シ、或時逆行シ、或時ハ順行ス。仏祖モ不識、天
モ測ルヲナシ。你カ方寸未穩儼、宗風、人我無明ノ中ニ、得失是非、憎愛
違順セバ、学解機路、我見ヲ以テ祖師ノ心ヲ埋没ス可。不レ耻古人ニ哉。
△不知玄旨——靜。○要知玄旨麼良久云、不動ニ纖毫、一時ニ現成ス。又云、
只有照塵月、無吹葉風。又云、未參ノ到這（十四、オ）个境界上
者ハ、黑山鬼窟ノ中ニ坐在、一向無心無念寂靜不動ノ処ヲ認テ、祖師

ノ玄旨トス。豈無繩自縛スルニ非スヤ。古人呵ノ寂ニ縛セラルト者是
也。機ホトント這漢ヲ坐殺スト云モ、一向背廬都地ニ坐定シ、無為無事
無心無念湛然寂靜ノ境ヲ守テ玄旨トスル者ヲ呵ス。予良久云、不動ニ纖毫、一
時ニ成現ス、ト云句ヲ觀透セバ、陰界意想ノ外ニ脱出シ、親ク祖師ノ玄
旨ヲ領スルノミニ非ス。眞歇和尚ノ只有照壁月、更無吹葉風ト云句
ヲ不疑。參。

△同円大虚——餘、注云、拈了也。又云、十法界以之為主。○拈云、
即此物非他物、注云、此物者在人々方寸ノ中。展則沙界ニ遍
周シ、縮則蘊ニ在粟米粒ノ裏。無朕迹、没涯岸（十四、ウ）ト雖
モ、常ニ在日用聞之處、明々歷々地、孤迥々円陀々無——在レキ聖不憎、
在レキ凡不滅。故ニ円図同大虚、無欠無餘ト云。華嚴ノ十法界、以之為主。
於中迷悟凡聖君子ノ財ヲ愛スルガ如シ。是ヲ耻有道ニ、
△良由取捨——如注シトス拈云、錯。注云、這一个箇一物円同大虚、無
欠無餘人ノ面前ニ布在ノ孤迥々、円陀々、活潑々、壁立千刃ナリ。是ヲ
取テ情ニ當レバ、觀面千里ヲ隔ツ、故ニ不可取ト云。是ヲ捨レバ坐臥経
行、大小便利、常隨ニ你後故ニ不可捨ト云。契如々ト者、活祖師徹
證ノ処ニ契ヲ云。○垂示云、斬釘截鉄、門前草深一丈○斬釘截鉄
ト云。注云、向上一路滑。壁立万仞、嶮草深一丈ト云モ、向上一路
ヲ云。（十五、オ）古人云、真正学揚宗乘、法堂前草深一丈○注云、真正
ノ宗師、有時ハ向上ノ宗乘ヲ学揚ス。法堂前ニ草深一丈、賓主出頭ノ処
ナシ。有時ハ建化門中ニ破テ三ト成ス。大平ノ寰宇ニ煙塵撥動ノ平地
ニ死人無數、是皆大宗師ノ格外ノ手段作略、仏祖不レ測妙也。向上ニ宗

乗ヲ挙揚スル則ンハ、門前草深一丈、不_レ動_二干戈_一、坐_テ致_二太平_一。向下ニ機輪ヲ轉スル則ンバ、二ヲ破テ三ト成ス。無_レ端、是大地ノ人ヲ賺誤ス。是ヲ平地ニ死人無數ト云。向上向下自在全提ノ正令ハ、大宗ノ手段作略、是ヲ左ニシ、是ヲ右ニシテ、鳥ノ二ノ翼ノ如シ。故ニ古人云、若向上ニ轉ル則ンバ、醯雞蟻蠹動含靈放_二大光明_一。若向下ニ轉則ンハ、仏祖モ出頭ノ処ナシ、況平人ヲ哉。而今眞歇和尚、大法ノ主ト作テ、

(十五、ウ) 仏祖ニ不_レ讓、殺活ノ杖子ヲ提起ン、百草頭上ニ向テ、七穿八穴、倒用横拈ス。有時ハ人ヲ死シ、有時ハ人ヲ活ス。是ヲ大宗師提起シ、殺活ノ杖子、横拈倒用、大自在ヲ得ト云。衆牛淘金、誰是得者ト云。眞歇它ニ讓ラサル格外ノ妙機ヲ行ズル_二我ニ非ンバ誰ト云、點胸ノ語也_一。○百草頭上ニ向テ、七穿八穴、倒用横拈ト者、入_二荒田_一不_レ擇信_レ牛、拈_二來草_一與_二奪利活_一、七穿八穴、縱横自在ノ妙ヲ拈ス。○第二義門ニ向テ二ヲ破テ三ト成シ、仏祖不_レ測格外ヲ轉ルヲ、平地ノ上ノ人ヲ死却スト云。此句ニ二ノ眼アリ。一ニハ斬釘截鉄テ向上ニ宗乘ヲ挙揚スル則ンバ、門前草深一丈、仏祖出頭スル_二不_レ許_一、天下大平ヲ致ス。建化門中、二ヲ破テ成_二三則ンハ_一、太平ノ寰宇ニ煙塵ヲ撥動ン平地ノ人ヲ賺謙ス。明眼ノ大宗(十六、オ)師、有時ハ向上ニ全提シ、有時ハ向下ニ全提シ、有時ハ人ヲ殺、有時ハ人ヲ活ス。死活在_レ牛、與_二奪宜_一ニ随フ。風塵艸動ニ應機不_レ失_二其宜_一、若是同參知音ノ漢出來テ、衆手ニ淘_レ金非_レ我、得者ハ誰。

△真遂有緣……忍。○有緣ト者、一切衆生無始已來今日ニ至ルマテ、自_レ朝至_レ暮、從_レ暮至_レ旦マテ、眼前ノ貪愛無明三毒ヲ逐テ暫時モ放捨セ

ス。眼ヲ開テ三塗無間ノ業ヲ造ルヲ有緣ヲ逐ト云。○空忍_(カ)ニ注スト者、過去ニ小分般若ノ緣ヲ結フ人ハ、善知識ノ你カ終日ニ有緣ヲ逐_二不肯_一放捨ヲ見テ、苦口ニ呵責スルヲ聞テ、慚愧ノ心ヲ生_二始テ菩提心ヲ起シテ_一、有緣ヲ捨テ空門ニ趣入スル目前ノ万緣万境ヲ撥ヒ避ケテ、心住_二空寂_一、一向閉目合晴シテ雜念起レバ、旋々破除シ、空却那畔、孤危死底ヲ(十六、ウ)認テ生死ヲ脱スベシテ思_(ト)ヘリ。殊ニ不_レ知空想情ニ當テ放テ下サスンバ、意想未断生死ノ心、未_レ破故ニ、実ニ生死ヲ透脱スル_二不_レ能ハ故ニ_一、非々想定ヲ習スル人、八万劫ヲ経テ、又三塗ニ還テ苦ヲ受ルガ如ニ、毫髮モ異ル事ナシ。是ヲ以テ有緣ヲ逐テ生死ヲ解脱セサルト空忍ニ注ン、生死ヲ解脱セサルト檢點シ、将来レバ、只是一般ナリ。故ニ避_レ溺_一投_レ火、一狀ニ領過ト呵ス。○如何是向上事、暗裏_ニ抽_二橫骨_一明中ニ坐_二舌頭_一。○注云、向上事ト問ハ、常向上ニハ非ス。々向上ノ事ト答セラル、ヲハ迢々タル空劫モ收_(ツ)ル_二能ハス_一。萬緣一境一切ノ塵機モ繫留ヲナサス。実ニ有緣空忍ノ外ニ脱出スル向上ノ事ヲ挙。這个ノ向上ノ事、夜半正明、天曉不露、參学骨髓テ徹テ、古人、大休大歇大安穩解(十七、オ)脱ノ場ニ眞證悟入スル人ハ、庵内ニ人ナシト雖、庵外ニ山青、水ハ縁ナル_二ヲサヘス_一。庵外ニ鳥啼花紅ナリト雖モ、庵内ニ人有テ見聞スル者ナシ。空却ノ自己ニ徹證スト雖、目前事ヲ欠ス、目前ノ事ヲ明ムトイヘトモ、トコシナヘニ空王殿ニ晏坐ス。是ヲ向上人ト云ヒ、又ハ暗裏抽_二橫骨_一明中坐_二舌頭_一ト名ク。洞上ニ、夜半正明、天曉不露ト云、是也。

△一種平懷……尽。注云、見盡情忘_二體露_一真常、一味平懷ニシ安帖無為

ノ境界也。○拈云、皮膚脱落尽有ニ一真実、注云、表裏情忘ノ三世心尽體露ニ真常、即如々仏ナリ。是ヲ皮膚脱落ノ、唯有ニ一真実ト云。○平常心返テ常ニ合道。注云、此句ニ二ノ眼アリ。平常心與常無(十七、ウ)異故ニ返道ニ合ト云。一ニハ大道ニ徹證シヌレハ旧時ノ人ヲ改ムル故ニ、常ニ返テ道ト云。旧時ノ行季ヲ改メスト雖モ、旧時ノ人ニアラサル故ニ也、此意親シ。○羌笛數聲——冒煙吹過——村。注云、愁人莫向愁人説、説ニ向愁人愁人。又云、這個境界能有幾人親到スル。

△止動靜止——動。注云、動ヲ止テ止ニ歸スレバ、止更ニ彌動スル故ニ、止ノ一字ニ止ト動トノ二ノ病アリ。故ニ話作ニ兩極ト云也。般若現前セサル已前、陰界意想ノナカニテ、情識ヲ以テ動ヲ止テ止ニ歸レバ、此止彌動ス。般若ノ妙処現前スレバ、動靜一致ニ二相アルヲナシ。故ニ不可レ有ニ兩ト云。○是以聖人——境。注云、般若ノ妙処現前ノ大無心徹證シヌ(十八、オ)レバ、見色聞声滲漏已ニ断フ。終日雖居動用之中、トコシナヘニ無為ノ境ニ處ス識モナク、知モ無ト云ハ、所謂般若ノ妙知也。○拍禪床云、百雜碎、注云、眞歇老人拍禪床一処ヲ参透セバ、迥ニ意想ヲ出テ、動靜ニ不レ涉疑ハシ。百雜碎者、眞歇老人黃金ノ團子ヲ百雜碎ノ一掃子ノ上ニ直面ニ割露ノ、你諸人ノ為ニ見セシムルヲ云。虚堂和尚上堂云、溪林葉落雁声寒、現成公案大難云云、鉄團圓百雜碎和風塔在玉欄干動ハは何不可レ有ニ兩箇ト説クヲ業識ノ主人五蘊ノ山中ノ識神ヲ認メテ、動靜進止、只是一箇ノ主人公ト会スルハ、猿引カ見解也。眞歇老師ノ説ハ陰界意想ノ外ニ脱出ノ、一切ノ動靜進止ニ致ナキ旨ヲ直示ス。大慧ノ(十八、ウ)書ハ法語ト毫髮モ差フヲナン。可知、

臨濟・雲門・大滬・法眼・曹洞明眼ノ祖師ノ所説、今古不可レ有二致ニ悉レ之。故ニ眞歇末後ニ拍禪床云、百雜碎是你ガ暫時意想擬議思量ト度ヲ以テ領スベケン故。

△唯滯兩邊——種。注云、動靜去来、著衣喫飯、痢屎送尿、你終日ニ行スル処ノ所作所為、実ニ活句不思議ノ妙ニ參得セスンバ、生死ヲ透脱スル畢竟落著ノ処ヲ知ルベカラズ。故ニ三祖大師ノ云、

○唯滯——寧——種ト云。一種ト者、何ソ只不思議ノ妙ヲ云。○師打云、只為赤——、注云、眞歇人ヲ打、人過在ニ甚麼處、只你カ実參実悟セスンテ、動ニ著シ、靜ニ著シ、一切ノ得失是非、言語葛藤窟ヲ脱離セズ。陰(十九、オ)界ノ中ノ活計ヲ作シテ、宗門ニ実ニ生死ヲ透脱スル没意知不思議ノ妙アルヲ不知。豈是大病ニ非スヤ。故ニ末後ニ云、要會麼、僧擬議ス。師云、打得——是、眞歇令ヲ行スル旨也。赤肉團ト者、別ニ意ナシ。只是你ガ実參実悟スルヲ無ク、業識四大兩團ノ身ヲ以テ知識堂前ニ至テ、手脚ヲ弄ノ伎倆ヲ作シ、皮下ニ血ナフシテ本色作家ノ宗師ニ、今日モ也喫棒、明日モ也棒ヲ喫ノ不レ知ニ痛痒。不レ知ニ慚愧ニ云、○有相無相根塵、注云、有相者有縁ヲ云、無相ト者、空忍ヲ、凡三界擾々タル喧鬧ノ境ヲ撥却シテ、一味休去歇去テ其動相ヲ止テ、心空寂ニ住ス。空想情ニ當レバ、止更ニ彌動ス。故ニ不思議ノ妙悟ヲ得サレバ、已逐(十九、ウ)物一切ノ有相無相ノ根塵ニ流浪シ將チサラル。空想情ニ當レバ、空却テ有境トナル。空体豈ニ根塵トナラサラン哉。

○一種不通——功。注云、一種ト者、没意智不思議ノ妙ヲ云。參学這一種ニ參徹セズンハ、一切蹉過セスト云ヲナシ。故ニ頭々蹉過スト云。

○且道那个ノ一処ノ路上ニ有^レ花兼テ有^レ酒——行、注云、你若這箇ノ一処ヲ透得セバ、一切動相、一切靜相、道人分上、左右ノ妙処ナラズト云^レナシ。故ニ此ノ動靜ノ境ヲ褒揚ノ云。路上有花——行一程ト者、所謂一種、兩程ト者、所謂喧靜皆道人分上、左右逢源如処ナリ。有^レ認メ動ニ著シ、靜ニ著スルヲ見解偏枯ニシテ、情境滲漏スト云。

(二〇、オ) △遺有^レ没有——空、注云、你若有^レ遺レバ、妙有ニ迷テ一切ノ万法當体即空ナルヲ不知。你一切ノ有遺ラント擬スレバ、目前ノ万有紛然トシテ你カ心頭ヲ勞攘ス。如何遺リ得ン。故ニ遺^レ有^レ没^レ有^レト云。生死ノ心不破、自己ノ妙処、未現前、暫時陰界意想之ニ向テ、万有ヲ撥置^レ空相情ニ當レバ、斷空ニ墮ツ。真空背。○前未ハ動ト説キ、止ト説ク。今此一段ニハ有^レト説キ空ト説ク。動靜空有ト説クハ、名コトナレトモ体一ナリ。悉^レ之。○貪^レ視天上——珠、注云、參学活句不思議ノ妙悟ヲ得ス。一切ノ有相無相、生死涅槃、真如法性、乃至歷代ノ祖師ノ言語葛藤、一肚ノ妄想ヲ參得ストルヲ、天上ノ月ヲ貪觀ト名ク。如是見解自己生死ノ大事ヲ失却ス。(二〇、ウ) 故ニ貪觀天上——實參實悟セスシテ、一切ノ世間、有相無相ノ境界乃至諸仏ノ法身法性、真如菩提、歷代祖師一千七百ノ公案等ニ至ルマテ、妙悟ヲ得サレバ、皆外道ニ馳走スト云。是ヲ貪觀——珠。

△多言——應、注云、這沒意智不思議ノ妙処、三世諸仏歷代祖説キ、不出思量不乃故ニ多言——相應ト云。絶言絶慮ト者、所謂般若不思議ノ妙処也。○拈起無孔鉄槌、注云、無孔鉄槌ヲ拈起スト者、三祖大師意思思慮ノ中ニ向テ、絶言絶慮思惟ト度シ得サル処ヲ拈起スルヲ、無孔ノ鉄槌

ヲ拈起シ一切ノ人ノ斷命刀子トナスト云。○情生——異ナリ、注云、心擬スレバ本智ヲ失却ス。故ニ情生ハ智隔ト云。一切衆生、李四長三、猫兒狗子ノ上ニモ、般若ノ妙智ハ歷々(二一、オ) トシテ不^レ味。你纔想心ニ入テ肯ヘバ、般若ノ本体ニ異ス。故ニ想變体異ナリト云。纔思惟ニ入ヲ相變ト云。○一夜落——香、注云、現成公案、你擬識得麼。

△絶言——通、注云、住々徹證ノ処如^レ人ノ飯^ヲ水冷暖自知^ル。不可^レ説示人。○拈云、什麼処——來、注云、三祖恁麼ニ道、早是話成^ニ兩擬^一声ヲ揚テ響ヲ止ルヲイカンガセン。○万機頓——此一洛索ノ語ハ大徹證ノ田地ヲ拳スル、此大徹證不可思議ノ妙処ハ、三世諸仏只自知スベシ。口ヲ開テ此人ヲ奈^{イカ}トスルヲアタハス。何況德山・臨濟ノ有棒有喝、到^ニ這裏^一一點モ用^レ不得。雖然如此這个大無心徹證ノ境界ヲ人ノ認着住在センヲ恐テ、真歇老子一點ノ云、莫守寒岩——妙スト。(二一、ウ)

△歸根——宗、注云、歸根者、源ニ徹證スルヲ云。隨照——者、聚見知見ノ中ニ宗旨ヲ明メ、得失ヲ辨ジ、機宜ヲ別、千照用ヲ説テ其妙ヲ究ムトモ、皆失^ニ祖師ノ宗旨^一、語滲漏トナル道ノ終始ニ通スルヲアタハス。故ニ永嘉云、直截根源仏所印、摘葉尋枝我不能云云。○六祖大師、末後示衆云、葉落歸根來時無口、注云、此一句炳然ナル哉。○須弥頂上無根樹ト一同也。皆正位ニ歸ル処ヲ拈云。不把春風花自開ト云ハ、別ニ無^ニ道理^一、只無根樹ノ用ヲ説、辨^レ之。此等之句ハ畢竟ノ根ニ歸テ得^レ旨、句ヲ拈スル耳。故ニ古人云、三世諸仏、歷代祖師、皆歸^ニ正位^一承當スト云是也。○宛妙失宗ト一句ニ二眼アリ。一ニハ陰界意想脱セス、一肚皮ノ葛藤ヲ咄出シ、照用ヲ辨シ、得失ヲ別^テ得^ル言(二二、オ) 語ノ妙ヲ

究トモ、於ニ祖師道ニ機昧ニ終始^ニ。一ニハタトヒ没意智ノ語句ヲ參得^ニ、機鋒顯通シ、横説豎説古今ヲ明弁シ、仏祖ヲ權衡^ニ自在無礙ノ菩提ヲ辨得トモ、洞山門下未^レ放過你^ニ在且道病在^ニ甚麼^ニ處^ニ。具眼者取。○翻欸ト云ハ、罪過ノ人ノ欸ヲ改ルヲ云。暫三祖ヲ撈^ニ云也。前來ハ遺^レ有^レ沒有ト説キ、今ハ須更返照勝却前空ト説ク、此欸ヲ改ル也。

△須更返照——空、拈云、須更ニ返照スト者、須更ニ非知ルヲ返照スト云。前來ハ陰界意想ノ中ニ在テ遺^レ有^レ從^レ空。今須更ニ管地ノ現前スレバ、一切ノ動靜、一切空有、必竟^ニ摩訶般若真空無相ノ全昧也。故不^レ離觀^レ空ト云。○タトヒ甚麼^ニ已^ニ是自埋、注云、放過即不可。

△前空——見、注云、前空ノ轉變ハ皆(二二、ウ)意想ノ中ノ忘現ナリ。自知即得、注云、三祖大師將謂鈍漢ナリト須更管地ノ処ヲ得テ、前空ノ轉變皆由^ニ忘^ニ見^ニナリト説ク。你三祖ニ許ス。自得スルヲハ即得。這句ハ實ニ三祖ヲ云非、指桑罵柳語也。○生滅ノ念ト者、生死ノ心ヲ云。又ハ起滅ノ念トモ云也。○想心ヲ離^レハ此空還滅スト者、未^レ忘^ニ忘^ニ失^ニ大惣持不思議ノ妙ヲ悟ラサルトハ、暫時般若ヲ想心ノ中ニ觀照スレトモ、別事ニ涉テ是觀セサルハ、即失^ニ生死大變現前^ニセン時、如何生死ニ敵セン。古人云、此事思量時ハ有、不思量時ハ無ト云、同語也。

△不用求——見、拈云、諸見尽了ハ般若自現前ス。別ニ求^ニ什麼^ニ所以云、現成公案你求^ニ它作^ニ什麼^ニ。○不見ノ処ト者、諸見絶シ了ル不思議ノ妙処ナリ。你若此妙処ヲ見ハ、與^レ仏何別ラン。○良久云、是何心行(二三、オ)注云、是甚麼ト拈。

△二見不住——尋、注云、二見者、空有ノ二見也。○灰頭土面一念玄

去、注云、此人ハ空有ノ二見ヲ打脱^ニ大無心大無事ノ人ヲ云。不受食ト者、尊貴ノ人ヲ云。一念玄ニ去テ不受食。尊貴ノ位ニ至ルトモ坐着スルハ、是滲漏トナル。更ニ位ヲ轉^ニ出身ノ一路アツテ自在ナルヲ得ベシ。如何是他ノ出身ノ一路、一片月生海——樓、古人云、秦樓歌夜月ト云心是也。

△纔有——心、注云、仏々祖々大徹證ノ境界、是非得失ノ及フ処ニ非。如何是不涉是非得失処、良久云、芳草渡頭尋^ニ不見夜——花、注云、只在此山中雲深不知処。○不受食尊貴隨云云、食トハ正命食也。凡六根門頭受ル所、染汚ナキヲ正命食ト名ク。僧問三百丈、沙門以^レ何為食、丈云、以^ニ無漏^ニ、為^レ食。無漏ノ食ナリト雖モ、不^レ受^ニ(二三、ウ)ヲ尊貴ノ人ト稱。△示衆云、納僧家高々峯頂立、注云、此句ハ向上人ノ立処ヲ舉ス。納僧高々峯頂嶮絶孤危ノ処ニ至テ、全機大用天下ノ衲僧ノ觸體ヲ横穿堅穿ス。此格外奇特ノ大用ハ、主人翁ヲ坐斷^ニ千人万人羅籠^ニ不^レ住、領処真実ニ脚跟下虚ナラヌ人ノ瞞ヲ受サル人、如是ノ大機大用ヲ發ス。如令一般癡鈍ノ漢、兩々三々門ニ上リ、戸ニ上ル。恰如^ニ按^ニ牛頭^ニ喫草^ニ上^ニ掘^ニ猫兒^ニ。癡鈍ノ漢ハ即且遺ク。全機大用ヲ具スル底、虎頭ニ騎ルヤ、未シヤ。於此具^ニ一隻眼^ニ、癡鈍瞎漢、格外ノ衲僧、二ツ俱^ニ成^ニ瞎漢^ニト云一句ヲ會スベシ。睦州ノ公案ヲ雪豆ノ頌ニ、今真歇ノ乘示、スコシキ諦訛アリ、弁^ニ之。○官有定條公ニ依テ此ヲコトハラハ、牛頭ヲ(二四、オ)按^ニ草^ニ草^ニ喫^ニセシムル底ノ鈍漢ハ道ニ不足。高々峯頂ニ立テ、天下ノ人ノ觸體ヲ横穿堅穿スル底ノ大機、妙用ニ俱^ニ畢^ニ竟^ニ殘羹餽飯ヲ喫スルヲ免^ニレヌゾ。具眼者辨^ニ之。○碧岩ノ乘示ハ一則ノ公案コトニ、

面々ノ公案一則ニ、乘示ノ巴鼻公案ノ意ヲ剖折ス。今眞歇和尚ノ乘示ノ如シハ、信心銘ノ句コトニ一ノ公案ヲ挙スルヲ繁重ナルベキガ故ニ、毎日ノ請益ニ一ノ乘示ヲ挙スル時、只宗門中宗旨ノ大綱ヲ挙シ、信心銘ノ句々ノ意ニ當テ、其巴鼻ヲ剖折セス。

△二由——守、注云、有^チ轉身一路始是得^{ベシ}。只守^ニ注^セ其^一、癡鳥栖^レ蘆、○雲門大師道、乾坤大地無^ニ纖毫過思^ニ猶是轉句、注云、此句ハ一色大功辺ヲ挙ス。○不見——提、此句ハ真常一色（二四、ウ）無辨処ヲ挙ス。故ニ不見一色猶是半提ト云。真常一色ハ全ク無^ニ弁処^ニカ故ニ、不見一色ト云。○更^ニ——節、此句第五ノ不共ノ功也。大^ニ須^ニ子細^ニ。亦ハ主中主ト云。命根断去テ、一色無弁ノ処ヲ透テ、千聖万聖仰望シ、不及処ニ参到スベシ。庵外ニ牛無シト雖モ、庵内ニ人アラバ、那邊更ニ那邊ニ親到スベカラス。

△一心——答、注云、只改^ニ旧時ノ人^ヲ、不^レ改^ニ旧時行季^ヲ、如何是即今行李^ヲ、掬水——衣、良^ク云芳草渡——花、夜来依旧——ト云、芦花明月一色辺ニ非ス。只向上ノ大事、真帰ノ処ヲ指ス。非^ニ那邊^ニハ、而何ナンソ。○此分ハ別紙ニアリ。

水月開山之御注也。衆賢可秘^ニ可秘^ニ。

△無咎——心、注云、無^ト者、意想ヲ脱スルヲ、意想思量ヲ脱（二五、オ）レバ、一法ノ眼ニ當ルナシ。尽十万世界ト與你作^レ縁^ノ對^ノ物、試^ミ拍一絲——看^ン。○不生心ニ非ス、注云、道本無名言、你無量却来、生死滅ノ心ヲ生^メ、蚕ノマユヲ造^ルガ如ク、自纏自縛ノ地獄ヲ造^ニ因^テ、你ガ病ヲ除カンガタメニ、三世諸仏不^レ獲^レ己^ヲ心ノ字ヲ說テ云、三界唯

一心、心外無別法。可^レ知、地獄三塗ハ你ガ一心ノ所現ナリ。你若^シ無心徹證セバ、地獄三塗破壞ノ夢境ノ如ナルノミ非ス、心ト說キ、性ト說モ、皆是夢幻ナリ。你試^ミ自己ノ本妙ヲ看^ルセヨ。是心ナリヤ、是仏ナリヤ。故ニ古人云、不是心、不是仏、〔不是〕物。你唯生死起滅ノ心ヲ滅却セヨ。喚^ニ什麼^ヲ作^レ心、作^レ仏、作^レ物。所以^ニ三祖大師云、無咎無

——心、四祖云、境縁無^ニ好醜^ニ從^ニ心起^ル。若強^テ不^レ名、忘情從何生ス。此等ノ妙処ニ通徹（二五、ウ）セバ始ス。不^レ生不^レ心ト云活句ヲ不^レ疑、是ヲ宗門ニ無心ト名ク。辨^ニ之^ヲ。○一串穿却——賽、注云、無咎無不心ト云一句、陰界意想ノ外ニ脱出スル活句ヲ吐露ス。故ニ三世ノ諸仏、歷代ノ祖師ノ命根ヲ一串穿却一提々起^メ、八面玲瓏——賽ナリト拈ス。三祖大師、全身活卓々地身ヲ隔サルノミニ非ス、釈迦・達磨モ也。身ヲ隔地ナシ。最^モ好^シ是一条^ノ活者、是箇ノ活処一妙、即文分明ニ一切ノ三乘十二分教ニ說ク処ノ死句ニ、混雜セサル処ヲ青山ノ色ヲ界破スト云。即今有人問、老僧無咎——心、意旨如何、對云、了。

△能隨——沈、注云、能者能照ノ心、境者所縁ノ境也。能縁（二六、オ）ノ心破テ妙処ニ至レバ、所縁ノ境供^ニ破^レテ龜毛兔角ノ如シ。境モト龜毛兔角ノ如クニ、實ニ有ルヲナキカ故ニ、能照ノ心破テ空ナレバ、所縁ノ境、能隨テ滅ス。是ヲ境ヲ逐^ニ能沈^ト云。沈^ト者、空ナルヲ沈ムト云。逐ト云ハ、字随テト云意也。古人云、万法本無、唯人自闢。○理智冥——見、注云、理者所照ノ境、智者能照ノ心也。境ニ二ツノ眼アリ。一ニハ目前ノ声色、一ツニハ無相空寂ノ理。無相ノ理ナリト雖トモ、是ヲ照セバ境トナル。問、今三祖ノ能境ノ二ヲ說ク。心ト法トヲ能ト境ト說

ク。眞歇拈ノ理智冥符スト云、此ノ時ノ境ハ眼前ノ境ニ非ス。無相ノ理ヲ境ト云。頗ル言語參差スルニ似リス。人ト牛トハ、能照ノ人、牛ハ所照ノ物也。又ハ理ト云ツベシ。又ハ闡闡中ノ主ト云ツベシ。目前ノ法ニ（二六、ウ）非ス。後句ニ桃花零落尽——雲云、若如是ナラバ、桃花ハ目前ノ境、靈雲ハ能見人也。是又牛不見、理智冥符スト云語ニ參差ス、如何。答云、隨語生解有甚麼了期、眞歇和尚八面ノ虚空ニ鑲錫ガ劔ヲ揮フ、端的ノ活意ハ只能照所照ノ境、一時ニ破テ、不思議ノ妙現前スルヲ論ス。有時ハ目前ノ境ヲ拳シ、有時ハ無相理ヲ境ト拳ス。其根本ヲ究ムレバ、只是一也。其旨ハ、不思議ノ活句ノ妙現前スル時節、見ル人ト見ラル、理ト、一時ニ空トナル時、目前ノ法々供ニ一時ニ破テ、你カ為ニ縁ヲナシ、對ヲナスモノナシ。故ニ靈雲三十年ノ大疑、一見桃花ノ時、一時ニ破、沒意智不思議ノ妙ヲ得、眞歇是等ノ因縁ヲ引テ拈ス。所謂一言尽十方、一句ニ古今ヲ裂破スル活（二七、オ）句ナリ。你カ杜撰ノ坐主ノ見解ヲナシテ、理ハ無相、境ハ有相ナリ、頗る語差異アルニ似リト是ヲ疑フ。眞个野狐ノ疑也。自今已後ハ、野狐精魅ノ見解ヲ不生、直ニ活句不思議ノ妙語ニ參スベシ。

△境由——能、注云、能ト云カ、境ト云ハ、皆生死妄想陰界ノ中ノ相ナリ。你若能照ノ心無心ナラバ、所照ノ境イツクニカ有ラン。你ガ業識顛倒ノ心、四大五蘊ノ中ニ有テ、終ニ起滅流注スルガ故ニ、善惡ノ境ヲ見テ、分別染汚ノ心生ス。故ニ目前ノ万法紛然トシ、你眼ヲ眩惑ス。故ニ境ハ由レ能境ナリト云。能ハ由境能ナリト云モ、只同意ナリ。故ニ不及注之。你若生死心破レバ、能照イツクニカ寄ラン。本如ニ龜毛兔角。

△境由——能、注云、此句ハ前ニ同故ニ不注之。○因誰致得、悉之。（二七、ウ）○心全是境則境由能境、注云、目前ノ万境ハ由心テ現形スル境ハ由心テ境ナリト云。次ノ句モ是ニ例シ可見。○能由境能則奪境不奪人、注云、人ハ由境人ナル則シハト云。心境打ノ一片ト成ル時ハ、人ヲ拳スル時ハ、尽十方世界全ク沙門ノ全身ナル故ニ、人ニ剩ル境ナル故ニ、能由境能ナル則シハ、奪境不奪人ト云。次句ハ、此ニ類シテ可明。在境全境則不奪ニ山青水綠ニ——、注云、心與境打テ一片ト成テ、活句ニ參徹スレハ、心ト拳シ、境ト拳ス。名異ニ全軀一也。境ヲ拳スル時、尽十方世界、有情無情、全体是境。心ヲ拳スル時ハ、山河大地、日月星辰、牆壁瓦礫、是全身也。切忌、作ニ坐主見解、隨語生解ヲヲ。○在心則山河——碎、注云、在心全身ナル則シハ喫甚麼、作ニ山（二八、オ）河大地。山河大地、百雜碎ト云。

△欲知兩段——空、注云、能境兩段ノ落處ヲ知ント欲セハ、只是一空。ミミト者、般若ノ空ナリ。般若ノ空ト者、亦無人、亦無仏、大千沙界、海中漚——拂、這裡ニ仏ヲ立スルヲ得ス、法ヲ立スルヲ、一切ノ思量擬議、有相無相、落句ノ名相分別ノ境界亡絶スル故ニ、般若ト称ス。故ニ臨濟云、離相離名、人不稟吹毛用了、急ニ須ク磨云云。○師連声云、說什麼——棒、注云、只一空ヲ論セハ、相ヲ離レ、名ヲ離テ、一柄ノ吹毛劔ノ如シ。名模擬議スレバ、刃下ニ喪身失命ス。什麼兩段三段トカ説ン。凡ソ眞歇老師正令當行ス。三祖大師ナリト雖モ、出頭ノ処ナシ。○我與祖師要相見、注云、此語（二八、ウ）ハ大勇猛將ノ百万ノ敵陳ニ向テ、匹馬單鎗ヲ高声索テ云。若作家ノ戰將アラバ出来レ、相見

セント要ス、ト敵ヲ索語也。意、真歇与三祖相見セント要スル索語也。
三祖出来テ、兩段三段ト説ハ、真歇一棒二打殺セント云也。

△一空——象、注云、一空ト拳スル時ハ、仏ヲ奪ヒ、祖ヲ奪ヒ、法ヲ奪ヒ、一切皆奪テ、出頭ノ処ナシ。然後錦上ニ花ヲ敷テ、一切皆旧ニ依則ンハ、有利無利、不離行市、恁麼不恁麼、惣在裏許、一切ノ法ニ一空不思議ノ妙ヲ離ルヲナシ。此時心ヲ立ルヲモ亦得タリ。法ヲ立ルヲモ也得リ。無相ニシテ而〔相〕、無形ニシテ而〔形〕、無作而作、無為而作ス。同能同境、照用齊行、人境不奪、真歇如此一々旧ニ仍テ排立シテ、又人ノ這裏ニ住在センヲ恐テ又道ク。主丈子吞劫乾坤（二九、オ）了也、山——来ト拳ス。○劫火洞然——雲中、此句乾坤大地ヲ奪了テ、重テ錦上ニ敷花語也。能境ヲ論スルニ、先凡夫顛倒ノ忘見ニヨラハ、能ハ忘心、境ハ塵境ナリ。一切ノ塵境ハ心ニ分別愛著取捨スル故ニ、目前ノ万境擬然トシテ、你ガ眼ヲ眩惑ス。故ニ境ハ由能境ナリト云。次ニ能境ニ由テ能ナリト者、不思議ノ般若ト徹通セサル有相著我ノ凡夫ハ、一切ノ色声香味触ニ由テ愛戀、貪著、好惡、取捨ノ心ヲ起テ、終日眼ヲ開、三塗地獄業ヲ造テ、解脱ノ期ナキガ故ニ、能ハ由境能ナリト云。凡能ト境ト心ト法ト、互ニ因縁ヲナシテ輪廻ノ業ヲ造「ハ、心源不思議ノ般若ニ徹證セサル故ニ、能境心法併テ生死ノ業トナル。若活句不思議不忘失ノ大惣持三昧ヲ得ル則ンハ、心ト法トニ、俱ニ破テ、二相ナキガ故ニ、能ヲ拳スル時ハ、能ノ（二九、ウ）外ニ境ナシ。境ヲコスル時ハ、境ノ外ノ能ナシ。此意ヲ真歇老師ノ語ヲ看ヨ。○光境俱ニ忘後は何物、注云、光ハ能照ノ心、境ハ所照ノ境ナリ。此境ハ目前ノ法ニ非。内心ニ照サル、境ハ、

眞如ノ理体也ト雖モ、陰界意想ノ知見ヲ解脱セサル故ニ、彼ノ眞如ノ理体、無明ノ根本トナル故ニ、參禪ハ心ト境トニ俱ニ破了始テ、不思議ノ妙現前ス。是ヲ妙悟ト云。亦ハ般若ト云ヒ、亦永劫ニモ不忘活句ナル故ニ、不忘失大惣持三昧トモ名クル也。光境俱妄は何物ト云ワ、此三昧ノ妙ヲ云。靈雲云、三十年ノ疑、一見桃花、破了。是不妄失大惣持三昧現スル時節也。故ニ真歇老師、此段ニ引テ用フ。盤山ノ光境——物ト云句ヲ引テ用ラル、モ、別事ニ非ス。心ト境ト俱破テ、法界量ニ相ナキ旨ヲ拳センガ為ニ、盤山・靈雲ニ大老師（三〇、オ）ノ因縁ヲ引カル、詳レ是。

△不見精——黨、注云、精者、妙也。龜ト者、妄也。三祖大師ノ精ト説クハ、不思議ノ妙也。所謂能照ノ心、所照ノ境ニ俱破テ、此妙ハ現前スベシ。這不思議ノ精妙ニ到ル時、陰界意想、思慮分別妄尽ル故ニ、能境破了テ、般若ノ一空ニ徹證スル。此時精モ亦ナク、龜亦ナシ。況凡夫妄情ノ分別ノ心ヲ認テ、無相ト執ノ有、偏有黨哉。故ニ不見——黨ト云。○龜ニ對スル時、精ノ名ヲ立ス。龜心若尽レバ、精モ亦亡ス。故ニ一空ニ到了レバ、不見精龜偏黨。○拈云、人平不語、水平不流、注云、一空ト者、衲僧罷參ノ時節也。仏法ノ道理ヲ説ニ非ス。這精龜偏黨亡絶スル時、三世ノ諸仏口掛壁上三立主、不得、立賓不得、況一言半句ノ他ニ與テ説クアラシヤ。眞个太平無事衲僧罷參ノ時節ナル（三〇、ウ）故ニ、人平不語、水平不流ト云。○主丈子平時如何、注云、主丈子衲僧大受用ノ処ヲ云。你タトヒ一空ニ到得テ攪酢酪為一金ニ無精無龜無偏無黨、未為奇特。如何是奇特事、山花——藍、這一句子、能ト作得麼、境

ト作得麼、一空ト作得麼、天地同根、万物一体ト作得テ、可謂納僧主丈子、乎ナ時別ニ有ニ生涯ヲ。

△示衆云、奔レ流ニ度レ刃ヲ——時、注云、奔流度刃ハ納僧ノ機用、此大咒大用發テ來機ヲ接スル時、啐啄同時ノ眼ヲ具シ、啐啄同時ノ用ヲ具ス。石火電光、殺活自在、這一絡索ノ語ハ、皆納僧ノ大機用ヲ舉ス。○直得鷄寒——命、注云、這句ハ納僧衣單下ノ事、深々蜜々ノ処ニ去テ、重テ拳ン人ニ看セシム。今眞歇和尚ノ鷄寒——水ト云句、現成ノ一句ニ非ス。雪豆ノ碧岩ノ頌古ニ云、羸鶴ヲ翔ニ寒本ニ、狂猿（三二、オ）嘯ニ古臺ニト云句ト一同ノ語也。納僧喪身失命ノ処ヲ舉ス。又豆和尚、趙州、至道無難、唯嫌揀拈、直得五年、分疎不下ト云公案ヲ頌ン云、天際日上——君自看、皆同類語也。○喪身失命スト云句ニノ眼アリ。宗門尋常用処ハ、纔ニ擬議（思カ）田惟ニ入レバ、刃下ニ喪身失命スト云、是ハ奪語也。今眞歇和尚ノ鷄寒上——命スト云句ハ、納僧衣單下、峽ノ月ノ下、猿啼第三声ニ至テ腸ヲ断ツ処ヲ喪失失命スト云。奪語ニ非ス。納僧流ニ奔リ刃ヲ度リ、啐啄同一時ノ眼ヲ具シ、啐啄同時ノ用ヲ具ン、生殺自在、与奪縱横ノ妙機ヲ發スルヲ、実ニ衣單ノ下、深々蜜々地ニ參ン、喪身失命スル処ヨリ發シ來。故ニ來機ニ向時一機一境、一言一句ヲ發スル句々、着実ニ着ニ出身ノ一路アル也。故ニ眞歇老師、參學ノ納僧根本着実ノ処（三二、ウ）ニ來テ、大死一回ノ絶後ニ再甦テ、如レ此ノ神機妙用ナルヲ重テ拳ス。具眼者ハ辨ヨ。○還有不顧——麼、注云、參學ノ納僧死ニ活シ、活ニ死テ、同死同生スル時、披毛入ニ火裏ニ、赤脚走ニ刀山ニ生死ヲ不顧人ト做得。如此境界ニ到ルヲ脚跟不虛、句頭ノ声色、言

語葛藤ノ外ニ脱出ン、自ラ喪身失命ン、這個境ニ到ルヲ也。○又眼アリ。葛藤窠ノ裏ヲ出ト云ヒ、或ハ荊棘林ヲ透得スト云ハ、葛藤ヲ出テ荊棘ヲ透トハ云ハス。只葛藤ノ妙ヲ得、荊棘ノ中ニ入テ自在ナルヲ、葛藤ヲ出、荊棘ヲ透ト云。今眞歇老師ノ示ス処ハ、只一ノ活句ヲ説ク。葛藤窠ヲ出ト云句ノ出来ル根由ハ、始メ眞歇ノ打処ノ葛藤ヲ出ル底有ヤト云。所謂葛藤者、奔流度刃、啐啄同時ト拳スルヨリ終リ、生死ヲ領底有麼ト云マテ（三二、オ）打出シ來ル葛藤ノ妙ヲ拳セヨ、看ト云也。眞歇和尚自贊云、信口胡説、七差八錯、万劫千生、不妨快活、情願死生、輪回肯求、諸聖解脫。誰云遍界沒遮欄、雲過青山雲一株。凡臨濟・曹洞全クニ肯アル非サレトモ、暫ク來機ニ赴時、用ル処ノ語話ニ些ノ差別アリ。所謂、雲門・臨濟ノ兩家ハ、言語葛藤ノ外ニ脱出ン、淨裸々赤洒々宗門ノ活句アルヲ直示ス。洞山門下ノ尊宿ハ、言語葛藤ノ妙ヲ得ルヲ葛藤ヲ出、荊棘ヲ透ト云。所謂因ニ地倒者却從地起ト云ハ是也。故ニ僧問、巴陵如何是提婆宗、對云、銀碗裏盛レ雪。

△大道——難、注云、大道体寬、注云、大道体寬ト拳スルニ、二ツノ眼アリ。一ニハ此心無象猶如虛空、堅究三三世一、横亘ニ十方ニ、無レ有ニ邊（三二、ウ）際。故ニ大道体寬ト云。此眼ハ鉢中ノ玄句也。誌公和尚云、要知大道ノ眞鉢、不離尋常声色言語ニ云云。此句、鉢中玄ノ中ニ出身ノ一路アル語也。一ニハ句中玄ニ於テ大道体寬ト拳ル則ンハ、一切ノ思惟度量、名相限量ヲ超越ン、無分別知現前スル時、肩量限際不可及故ニ大道鉢寬ト拳ス。此句不思議無分別沒意知ノ端的ヲ全提ン、趙州和尚、有僧、如何是大道ト問ヘハ、答云、牆外底。僧云、我不問這

个道——長安^二是所謂大道大寬、無易無難。○我且問你、趙州大道長安^一ト云語、易ト作シ得ン麼、難ト作シ得ン麼。眞歇老師、誌公・趙州二大老師ノ公案ヲ引出テ、七縱八橫ニ大道ノ全軀ヲ挙ス。一句ノ中ニ三句ヲ具シ、一玄ノ中ニ三玄ヲ具ス。有^レ玄^レ要有照有用作家宗旨、當機古今拈シ尽ス。(三三、オ)其縱橫無碍ノ大機大用、於^レ爰可見。趙州老人言語太直シ、注云、僧問、如何是大道。州云、大道透^ニ長安^一。○三祖大師開口見臆、注云、三祖大師大道體——ト云語、無展事、開口見臆什麼ノ許多ノ道理カ有ラン。○誌公和尚舌頭無骨、注云、声色言語、屙屎放尿、処々築著磕著、信牛拈来リ、信口道著故ニ、舌頭ニ無骨ト拈ス。三祖大師皆活句不思議ノ妙ヲ道得テ、端的ナリト雖モ、明眼ノ宗師放過有リ。過在^ニ甚麼^一処^ニ、良久云、官有定條。○来テ説^ニ是非^一ト云ハ、三祖・誌公・趙州ヲ云。眞歇和尚、是非ヲ説クヲ免レ得リ麼。云、眞歇兼^レ身有^レ裏。

△小見狐疑——遲、注云、大道真体寬^一如大虚、面前明々了々トノ天地ニ盈チ、大劫ニ亘テ孤迢々円陀々活潑々、無易無難、作力意ヲ措ク処ナシ。小智小見ハ情ヲ離レテ直ニ透スルヲアタハス。手脚忙乱シテ(三三、ウ)急要^ニ辨取^一、直饒你身心ヲ苦勞ノ、三無數大劫ヲ歴テ、急ニ證悟ヲ覓トムトモ、弥不^レ見^レハ弥遠シ。通徹ノ期アルヲナケン。只一念機ヲ回テ退^テ歩^フ、就^ニ已^一、忘^レ情^ヲ、鉢證スレバ、見尽情忘スル時ニ、飲水冷暖自知スルカ如シ。人々求ヘカラス。人ニ説示スヘカラス。只自點頭スルノミナリ。這箇妙処現前スルヲ、無心ニ契合スト云。尋常情尽テ、土木瓦石ノ如クナルヲ無心ト云ニ非ス。且道、如何は無心ノ道人不疑底ノ処。

天ハ共ニ白雲ト曉々、水^ハ和^ニ明月^一流。又一ノ意アリ。無心ニ合得テ不疑ノ地ニ到ルヲ管セス。三祖眞歇ノ意ヲ論セバ、一柄ノ吹毛ノ劒ノ如シ。心ニ擬^ニ急ニ求ム^レハ、大道ノ真体ヲ蹉過スルノミニ非ス。早是^レ喪身失命ス。何況神ヲ勞シ、形ヲ苦メテ、急ニ成辦スルヲ哉。只直下ニ見ハ、便チ見ヨ。更ニ遲疑スルヲ莫^レ。纔ニ第二念ニ流至スレバ、永劫ニモ得ル時ナシ。你心ヲ以テ(三四、オ)擬シ、意ヲ以テ量練ラメ、三無數大劫ヲ経トモ、徒ニ身心ヲ苦勞ノ、有^レ為^ノ功行ヲ成^シ得リ。○一念無心便超三乘權勞ト云ハ、你若一見便見^ニ不疑ノ地^一ニ到ラバ、是ヲ一念無心ニノ、三乘ノ權學ヲ超ト云。木石ノ如ナルヲ無心ト云ニ非ス。南泉ノ無心道人ヲ求ムルニ得難、ト云モ是也。此意只觀面全提ノ句也。時節ヲ待テ、無心不疑ノ地到ルヲ論セス。大道体寬廣ニノ、古今雍阻ノナシ。你纔ニ心ヲ生シ、念ヲ動スレハ、便大道ノ真体ヲ失劫ス。故ニ古人云、情生智隔ル、想變レハ体異ト云ニ、易キヲモナク、難キヲモナシ。上根利智ノ人ハ、声前ニ透得ス。中下根小智小見ノ類ハ、直下ニ透ルヲアタハス。狐疑ノ、東西ニ馳逐ノ、急ニ覓^レ之^ヲ、疑ノ上ニ疑ヲ生ノ、你覓^レハ弥遲シ。

△執^レ之^一路、注云、執^ニ之^一者、些子ノ得処悟処ヲ執^シ、高見ヲ起^シ、窠(三四、ウ)旧ヲナシ、依倚途轍ヲ成テ得ル処ニ耽着^シ、争^ニ人我^一、求^ニ勝負^一、鼻孔遼天、不肯^ニ天下人^一尽是邪見ナリ。タトヒ些子ノ悟処アル人モ、參禪骨ニ徹リ、體ヲ敲テ、古人親證ノ田地ニ到ラサレハ、天下ニ没量人、大人ト称スル人モ、情ヲ恣^ニ度ヲ失フ病アリ。急ニ除カスンハアルベカラス。你如^ニ是邪見ヲ捏擲^一、一團ノ無明ノ業火ト成テ、

胸中ニアリ。自ラ救フ不了、況人ノ為ニセンヲ哉。○些子禅道悟処ニ便得セラレテイカ〔ン〕トモセス。何況臘月三十日到来センニ、如何生死ニ敵抵セン。○如何得^レ不^レ入^ニ邪路^一、去年梅、今歳——旧、注云、你参禅ノ実ニ大無事ノ境界ニ到得ハ、去年今歳顔色馨香色々、只仍^ル旧何処^{ニカ}。殊勝不思議勝妙ノ境ヲ見テ、高見ト作テ勝負、人我ヲ争ヒ、無明天ニ亘テ、得処ニホコラン哉。可^レ悲^ク。

(続)